

件名	「新病院整備基本計画(案)」の策定について	
経過・現状 政策課題	【経過・現状】	
	H20年12月	救命救急センターを含む新病院の整備等を内容とする市立堺病院将来ビジョン(基本構想)(案)策定 救命救急センターとは、重篤患者に高度医療を提供する三次救急施設。堺市二次医療圏(堺市域)は、府内で唯一、三次救急を担う救命救急センターが設置されておらず、救急医療の充実が課題となっている
	H21年9月	パブリックコメント、関係団体へ説明後、市立堺病院将来ビジョン(基本構想)策定
	H22年3月	・広報さかい3月号にて、救命救急センターと高度・専門医療を提供する総合医療センターを西区に整備することを公表 ・平成22年度当初予算にて、救命救急センターを含む新病院の整備費(基本・実施設計費等)を計上
	H22年5月 ~6月	新病院整備推進部会、新病院整備検討庁内委員会を設置
	【政策課題】 (1) 三次救急医療の整備 (2) 高齢化の進展に伴う疾病構造の変化に対応 (3) 小児・小児救急・周産期医療の充実 (4) 災害時医療等の公立病院としての役割強化 (5) 地域医療連携の推進	
対応方針 今後の取組 (案)	【基本計画(案)の骨子】 市立堺病院の理念と病院憲章に基づき、患者さんを中心とした市民サービスを提供 (1)新病院・救命救急センターの主な機能 救急医療 ... 救命救急センター・救急ワークステーションの整備 高度・専門医療 ... 病態別診療体制をとる医療センターの充実、推進 小児・小児救急・周産期医療 ... 小児一次診療機関からの受入れ、NICUの復活 感染症医療 ... 専用病床の個室化等の機能充実 災害時医療 ... トリアージスペースの確保、体制強化 地域医療連携機能 ... 地域医療機関との連携強化と役割分担 医療提供のための機能 ... 人材育成・確保、経営戦略機能強化 (2)規模 病床数 ... 480床以内 ・一般 ... 450床以内 ・救命救急センター ... 30床 感染症病床は、人口別配置基準数を基に検討 診療科(22科) ・救命救急センターの整備に伴う3科の新設 救急科、心臓血管外科、形成外科 敷地面積 ... 約24,000㎡ 延床面積 ・病院本体 ... 約40,000㎡(救命救急センター、救急ワークステーション含む)	

(3)施設整備の考え方

患者さん・家族本位の病院

機能性に優れ、変化に対応できる病院、災害に対応できる病院

環境保全と経済性が調和した病院

職員に魅力ある病院、地域医療に貢献する病院

(4)建設予定地：西区津久野町1丁、家原寺町1丁

・併設施設：(仮称)急病診療センター

(5)事業費

建設工事費	11,000,000千円
医療機器等	5,500,000千円
用地取得費等	3,500,000千円
合計	20,000,000千円

併設施設整備費、基盤整備費等は含まず、詳細な事業費については実施設計で算出

【今後のスケジュール】

H22年8月26日	新病院整備基本計画(案)公表
H22年9月1日	広報さかい9月掲載 パブリックコメントの募集(期間：H22年9月16日～10月15日)
H22年10月下旬 ～11月上旬	・パブリックコメントの意見集約の公表 ・新病院整備基本計画策定
H23年度～	道路工事、新病院基本及び実施設計
H24年度～	新病院建設工事
H26年度中	竣工予定

【事業推進にあたっての主な課題】

- (1) 周辺のまちづくりとの連携確保(交通アクセスなど)
- (2) 経営改革の推進による単年度収支の黒字化と不良債務の解消、現病院の残債処理
- (3) 経営形態の見直し
- (4) 現病院の後利用

効果の想定

市民の安全・安心を確保 - 救急医療体制の充実
・救命救急センターを整備することにより、現在、市外の三次救急医療機関に搬送されている重症患者の受入れが可能となる
・救急医療ネットワークの構築など、救急時・災害時に適切な医療を提供できる体制の整備

関係局との
政策連携

健康福祉局、消防局、危機管理室、財政局、環境局、子ども青少年局、建築都市局、建設局、西区役所、上下水道局、教育委員会等